

# 令和 2 年度の事業報告書

令和 2 (2020) 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 楽舎

## 1 事業の概要と成果

過疎高齢化の著しい山里とまちなかをむすぶ。そのために、山里の人と暮らしの魅力を伝える。

しかし、コロナ禍のなか、ほとんどの事業が行えず、ZOOM で語り合いの場をつくっていくことになった。

## 2 事業の実施に関する事項

事業名 (定款記載)	具体的な事業内容	実施日時/場所/参加者	事業費 (千円)
①山里への定住を促進する事業	空き家を見つけ、田舎暮らしをしたい人に結びつけ、地元の地域につなげていく。	移住相談 5 件、空き家案内 2 人。	95
②山里暮らしの魅力を発信する事業	日常の山里暮らしを Facebook とホームページで発信する。山里の匠たちの取材と紹介。 ZOOM を 18 回開催。全国、世界の人達との交流をはかる。テーマは多岐にわたる。過疎地での外国人の働き方、看とりと送り、声の響きと身体、との統合、心理療法と自己啓発セミナー、生きる死ぬと仏教など。 参加者は、日本各地。フランス、ブルガリア、イギリス、ドイツ、アメリカ、インドネシアから。 理事長が、各地で公演。	ZOOM のカタリバ開催 5 月：6 回 6 月：4 回 7 月：5 回 8 月：3 回  講演会 11 月 30 日 臨済宗妙心寺派布教師会の僧侶を対象に山里暮らしの魅力について講演	57
③山里で仕事をつくる事業	理事長が、令和 3 年の 12 月より地域密着型通所介護施設を運営するようになり、山里の見守り、介護予防についてのネットワークをつくっていくことになった。		
④移住者と地域住民の交流をはかる事業	②③の事業を進める中で、交流が図られていく。コロナのために活発には行えず。	コロナの三密を避ける意味でも、オープンテラス 20 畳を制作。講座やコンサートなど、交流の場にしていく予定。	38
⑤地域の人々の寄り合いの場をつくる事業	③の事業を進める中で、交流が図られていくコロナのために活発には行えず。		
⑥その他、目的を達成するために必要な事業	過疎高齢の山里にあって、ひとり暮らしのお年寄りもやや焼く、不安、先行き懸念を抱えている。そこで、「それぞれの見守り・看とり・平穏死」のカタリバを創出していく。	第 5 回「看とりとおくり」の語り合いの場：春野町と ZOOM でのリモート参加：在宅医療勇美記念財団助成事業	

# 平成 28 年度の事業報告書

平成 28 (2016) 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 楽舎

## 1 事業の概要と成果

過疎高齢化の著しい山里とまちなかをむすぶ。そのために、山里の人と暮らしの魅力を伝える。

「まちづくり事業」(浜松市の支援事業)の2年目として、定住促進を行う。すなわち、空き家を見つけ、田舎暮らしをしたい人に結びつけ、地元の地域につなげていく。

## 2 事業の実施に関する事項

事業名	具体的な内容	実施日時/場所/参加者	事業費(千円)
①山里への定住を促進する事業	空き家を見つけ、田舎暮らしをしたい人に結びつけ、地元の地域につなげていく。移住説明会の開催。春野町内に、空き家管理、定住促進の窓口のお知らせを配布。	相談件数: 220 件 案内した空き家: 30 件 定住した人: 5 組	
②山里暮らしの魅力を発信する事業	第2回ラブファーマーズ・カンファレンスの開催: 有機農業者の集い。講座、ワークショップ、移住相談など。	日時: 9/2 ~ 9/4 場所: 春野町「山の村」 参加者: およそ 500 名	
	駒大生の夏期集中講座 山里の暮らしと事業の講座の開催	日時: 9/5 ~ 6 場所: 春野町川音の郷 関わった人数: 講師 20 名、駒沢大学の学生 40 名と教師	
	春野カフェ: 駒沢大の学生たちによる山里活性化の提案、研究報告	日時: 9/8 場所: 浜松市ザザシティ 参加者: 60 人	
	食農教育の一環として、大豆の栽培と収穫、味噌に加工する。	日時: 4/11 場所: 春野町田河内 参加者: 15 名	
	田んぼ作り: 3 反(3000 平米)の耕作放棄地の田んぼを蘇らせて、無農薬・無化学肥料の稲作の栽培。合鴨農法の実践。浜松市、みんなの創造プロジェクト。	日時: 4/1 ~ 12/28 場所: 春野町久保田 参加者: 延べ 120 名	
	第1回知的障害者と山里体験: 農体験。名古屋からバスで参加。ともに稲刈り、脱穀、餅つき、川遊びなど。	日時: 10/3 場所: 春野町久保田 参加者: 50 名	

# 平成 29 年度の事業報告書

平成 29 (2017) 年 4 月 1 日から平成 30 (2018) 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 楽舎

## 1 事業の概要と成果

過疎高齢化の著しい山里とまちなかをむすぶ。そのために、山里の人と暮らしの魅力を伝える。

「まちづくり事業」(浜松市の支援事業)の3年目として、定住促進を行う。

空き家を見つけ、まちなかの田舎暮らしをしたい人に結びつけ、地域の地域につなげていく。

## 2 事業の実施に関する事項

事業名	具体的な事業内容	実施日時/場所/参加者	事業費(千円)
①山里への定住を促進する事業	空き家を見つけ、田舎暮らし希望者結びつけ、地域の地域につなげる。定期的に移住説明会を開催。春野町内に、空き家管理、定住促進の窓口のお知らせを配布。	相談件数：23件 31人 移住説明会(楽舎、浜松のまちなか、東京の新宿と国立市)：10回 移住した人：3組 3名	5483千円
②山里暮らしの魅力を発信する事業	第3回ラブファーマーズ・カンファレンス(有機農業者の集い)への参加。講座、ワークショップ、移住相談などを担う。	日時：9/2～9/4 場所：春野町「山の村」 参加者：およそ500名	1094千円
	田んぼ作り：田河内の森で稲架掛け用のナルの伐採、3反の田んぼの田起こし、田植え、草取り、収穫など一連の作業。	日時：一年を通して 場所：春野町田河内の森林、宮川の田んぼ 見学と参加者数：延べ400名	
	「田んぼと畑1年のあゆみ」冊子の制作：静岡県農業振興基金協会助成事業	冊子の制作と発刊。500部配布。ホームページにもリンク。	65千円
	第2回知的障害者と山里体験：農体験。名古屋からバスで参加。自然の中のウォーキング、体育館でマンダラアート、野外炊飯としてカレー作り。	日時：5/14 場所：春野町と引佐かわな野外センター 参加者：障害者37名、スタッフ5名	
	講演活動、NPO法人アクティブシニアネットで講師を務める。	日時：5/20 場所：可美協働センター 参加者：40名	0千円
③山里で仕事をつくる事業④移住者と地域住民の交流をはかる事業⑤地域の人々の寄り合いの場をつくる事業	②の事業を進めていく過程で、③④⑤の効果が現れてきている。		0千円

⑥その他、目的を達成するために必要な事業	異文化交流として、「第3回神社・寺カフェ」開催：市内の神社と寺と教会ネットワークづくり、異なる宗派・宗教を超えて、市民に門戸を開放する。浜松市文化振興財団助成事業。	開催日：2/11～3/31 参加寺社：26 訪問者数：延べ600人	378千円
	子育てママさんサポートとして、「産前産後の妻から夫へ伝えたいこと」の冊子制作：静岡県地女連助成事業。	発刊日：3月13日 発行部数：300部	174千円
	山里暮らしの楽しみとして、ロケットストーブづくりのワークショップ開催：静岡県地女連助成事業。	開催日：2月20日 参加者：7名	50千円
	第1回「看とりとおくり」連続講座の開催：曹洞宗、臨済宗、神道、キリスト教、ヒンドゥー教、無宗教によるそれぞれの看とりとおくり、連続シンポジウムとカタリバづくり。浜松市創造プロジェクト助成事業	開催日：2/25、3/4、3/10、3/15、3/25、3/31（全6回） 開催場所：クリエート浜松 参加者：300名	803千円

# 平成 30 年度の事業報告書

平成 30 (2018) 年 4 月 1 日から平成 31 (2019) 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 楽舎

## 1 事業の概要と成果

過疎高齢化の著しい山里とまちなかをむすぶ。そのために、山里の人と暮らしの魅力を伝える。

「まちづくり事業」(浜松市の支援事業)の4年目(最終年度)として、定住促進を行う。

空き家を見つけ、まちなかの田舎暮らしをしたい人に結びつけ、地元の地域につなげていく。

## 2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時/場所/参加者	事業費
①山里への定住を促進する事業	空き家を見つけ、田舎暮らしをしたい人に結びつけ、地元の地域につなげていく。 浜松市内のまちなかで、移住説明会・田舎暮らし講座の開催。 ZOOMを活用して、オンライン相談。 春野町内に、空き家管理、定住促進の窓口のお知らせを配布。	相談件数：56件 移住した人：5組 5名 移住説明会、田舎暮らし講座：11回 開催場所：鴨江アートセンター、県居協働センターなど。	5470千円
②山里暮らしの魅力を発信する事業	「西浦田楽」の冊子制作 ポーラ伝統文化振興財団助成事業	1月10日発刊 A4サイズ55頁。300部。	536千円
	無農薬米・栽培から加工までの体験 ワークショップ、静岡県農業振興基金協会の助成事業。	一年を通して。 総参加者数200名。	437千円
	第3回知的障害者と山里体験：農体験。名古屋からバスで参加。自然の中のウォーキング、体育館でマンダラアート、野外炊飯としてカレー作り。	日時：7/22 場所：引佐町かわな野外センター 参加者：40名	59千円
	講演会や放映など：浜松タウンテレビにて放映、臨済宗の寺院、臨済宗の僧侶の研修などで講師を務める。	4/4：浜松タウンテレビ取材と放映 9/23：臨済宗の寺院で講演 11/20：臨済宗の僧侶の研修会で講師(クラウンパレス)	0千円
春野の案内役を務める：NPO法人雲を耕す会	日時：11/07 場所：春野 参加者：13名	0千円	

<p>③山里で仕事をつくる事業 ④移住者と地域住民の交流をはかる事業 ⑤地域の人々の寄り合いの場をつくる事業</p>	<p>インドネシア人家族が、ハラール（イスラム色）の加工場をさがしているため、その場所探し。春野町、森町、磐田の万瀬とさがし、磐田市万瀬の集落に場所が決まった。契約を結ぶ。</p>	<p>日時：2月から3月にかけて5回ほど山里を案内。 場所：春野町、森町、磐田市 参加者：インドネシア人家族5名とその協力者</p>	<p>0千円</p>
<p>⑥その他、目的を達成するために必要な事業</p>	<p>異文化交流として、「第4回神社・寺・教会カフェ」開催：市内の神社と寺と教会のネットワークづくり、異なる宗派・宗教を超えて、市民に門戸を開放する。浜松市文化振興財団助成事業。</p>	<p>開催日：3/1～3/31 参加寺社：28（寺院、神社、教会） 訪問者数：延べ300人</p>	<p>398千円</p>
	<p>第2回「看とりとおくり」講演会：臨床現場の僧侶（浄土真宗）として看とり体験・おくり体験、グリーンケアについて。 カタリバ（語り場）も3回開催。 在宅医療勇美記念財団助成事業</p>	<p>開催日： 講演会は、8月25日（土） カタリバは、①8月18日②8月27日③8月31日の3回 開催場所：浜松市鴨江アーセンター 参加者：70名</p>	<p>329千円</p>
	<p>空き家の解体事業。中道邸。解体の式典も、解体作業、解体後の式典と地域の人との語らいの場。</p>	<p>2月3日～2月20日 総参加者数30名</p>	<p>756千円</p>

# 平成31年度の事業報告書

平成31(2019)年4月1日から令和1(2020)年3月31日まで

特定非営利活動法人 楽舎

## 1 事業の概要と成果

過疎高齢化の著しい山里とまちなかをむすぶ。そのために、山里の人と暮らしの魅力を伝える。

根源的な、生きる、死ぬというありようを皆で分かち合い考える場づくり。異なる宗教、宗派を超えた交流の場作り。

## 2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時/場所/参加者	事業費
①山里への定住を促進する事業	空き家を見つけ、田舎暮らしをしたい人に結びつけ、地域の地域につなげていく。移住説明会の開催。春野町内に、空き家管理、定住促進の窓口のお知らせを配布。	相談件数：150件 移住した人：3組3人	960千円
②山里暮らしの魅力を発信する事業	食農教育：無農薬無化学肥料による大豆の栽培から大豆の加工まで：静岡県農業振興基金協会の助成事業	日時：6月～12月 場所：春野町 参加者：20名	419千円
	第3回知的障害者と山里体験：農体験。名古屋からバスで参加。自然の中のウォーキング、体育館でマンダラアート、野外炊飯としてカレー作り。	日時：10/3 場所：引佐町 参加者：40名	0千円
	春野の案内役を務める：NPO法人雲を耕す会 郷土史研究家の講演と王子製紙に関わる史跡の案内	日時：10/27 場所：春野 参加者：13名	0千円
③山里で仕事をつくる事業④移住者と地域住民の交流をはかる事業⑤地域の人々の寄り合いの場をつくる事業	ハラールの食品加工場の立ち上げに至る調整：農水省大臣官房、関東財務局、磐田市役所、万瀬の集落、インドネシアの家族との調整。地域住民との交流会開催。	4月に調整 5月に稼働	0千円
⑥その他、目的を達成するために必要な事業	第3回「看とりとおくり」の講演と語り合いの場：春野町とZOOMでのリモート参加：在宅医療勇美記念財団助成事業	開催日：10/28 参加者：50 開催場所：春野町	165千円

# 令和 2 年度の事業報告書

令和 2 (2020) 年 4 月 1 日から令和 3 (2021) 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 楽舎

## 1 事業の概要と成果

過疎高齢化の著しい山里とまちなかをむすぶ。そのために、山里の人と暮らしの魅力を伝える。

根源的な、生きる、死ぬというありようを皆で分かち合い考える場づくり。異なる宗教、宗派を超えた交流の場作り。

## 2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時／場所／参加者	事業費 (千円)
山里暮らしの魅力を発信する事業	ZOOM での語り合い 移住相談 5 件、空き家案内 2 人。		
移住者・まちなかの人と地域住民との交流、山里の寄り合いの場をつくる事業	ZOOM での語り合い		
	コロナの三密を避ける意味でも、オープンテラス 20 畳を制作。講座やコンサートなど、交流の場にしていく。		
異文化交流、生きる・死ぬという根源的なありようを語り合う場づくり	ZOOM での語り合い		
	第 5 回「看とりとおくり」の語り合いの場：春野町と ZOOM でのリモート参加：在宅医療勇美記念財団助成事業		
	臨済宗妙心寺派布教師会の講師を務める。	開催日：11/30 場所：静岡市グランヒルズ静岡 参加者：7 名	
⑥その他、目的を達成するために必要な事業			